

第 185 回 物質構造科学研究所運営会議議事要旨

日 時 令和 7 年 10 月 1 日 (水) 15 : 15 ~ 17 : 15

場 所 高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室 + ウェブ (Zoom) 併用

出席者 雨宮議長、池田、大山、栗栖、解良、近藤、菅原、永井、原田、矢橋、山室、大友、千田、伊藤、幸田、五十嵐、木村、横尾、中尾、帯名の各委員、熊井専門委員、船守所長

(欠席：大竹副議長、駒場、高橋、三部、佐波の各委員)

(機構側陪席者)

浅井機構長、足立理事、長野理事、道園理事、柴原総務部長、櫻井参事役、岩見人事担当課長

議 事

【 1 】 所長報告

船守所長から、物質構造科学研究所の運営に関する報告があった。

【 2 】 第 183 回、第 184 回議事要録の確認について

雨宮議長から、資料 1 の議事要録については事前に確認を終了しており、確定版を配付している旨の説明があった。

【 3 】 審議

(1) 所長等選考プロセスの見直しについて

浅井機構長から、資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

<主な意見・質疑応答等>

・教育研究評議会の評議員はコミュニティの意見を客観的に取り入れることのできる構成になっているか。

→外部評議員 10 名、内部評議員 15 名で構成されている。また、研究分野ごとにもバランスを考慮した構成になっており、コミュニティの意見を反映できる体制になっている。

・教育研究評議会の議長は機構長だが、今後も機構長が教育研究評議会での議論に参加することには変わりはないか。

→従前通り、教育研究評議会の一評議員として議論に加わることになる。

・所長選考の際に、機構長による運営方針の説明を運営会議で実施いただいていたが、今後も実施いただけるか。

→引き続き実施する。また、必要な際には運営会議及び関連学会にも参加したいと思うので、是非お声がけをいただきたい。

(2) 教員公募 (物構研・准教授 1 名・中性子)

伊藤委員から、資料 3 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。併

- せて、人事委員会委員についても提案のとおり了承された。
- (3) 特定有期雇用職員の雇用計画・公募について（物構研・特別准教授または特別助教1名・中性子）
伊藤委員から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。併せて、人事委員会委員についても提案のとおり了承された。
- (4) 教員公募（物構研・准教授1名・放射光実験施設）
五十嵐委員から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。併せて、人事委員会委員についても提案のとおり了承された。
- (5) 教員公募（物構研・准教授または特別助教1名・女性限定・放射光実験施設）
五十嵐委員から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。併せて、人事委員会委員についても提案のとおり了承された。
- ＜主な意見・質疑応答等＞
- ・教員公募の審議の際には、今後、公募を実施する背景として、人事の位置づけを説明していただきたい。
- 次回以降実施する。
- (6) 2025年度後期ミュオン共同利用S型実験課題の審査結果について(S1型一次採択)
幸田委員から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。
- ＜主な意見・質疑応答等＞
- ・責任者が2名いるが、責任の所在があいまいになることは無いか。
- ミュオン共同利用S型実験課題では、責任者が2名という体制で実施することも珍しくなく、今回は若手のため2人で協力して行うのが適切と判断した。ミュオンPACでの審議の際にも、この点に異存はなかった。
- (7) 教員人事（物構研25-1・ミュオン・特別助教1名）【クローズド審議】
雨宮委員から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、特別助教1名が選考された。
- (8) 教員人事（物構研25-4・中性子・特別助教1名）【クローズド審議】
千田委員から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、特別助教1名が選考された。
- (9) 教員人事（物構研25-5・放射光科学第二研究系・特任助教1名）【クローズド審議】
千田委員から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、特任助教1名が選考された。
- (10) 次期研究主幹の選考について【クローズド審議】
船守所長から、次期研究主幹について、候補者の要件に関する説明が行われた。
- (11) 次期技術調整役の選考について【クローズド審議】
船守所長から、次期技術調整役について、候補者の要件に関する説明が行われた。

【4】協議

- (1) 低速陽電子実験の将来展開について
和田教授による、現行施設および量子マルチビーム施設（次期計画）における低速陽電子回折を用いた表面構造解析と光電子分光を用いた電子状態観察の将来展望の紹介に引き続き、意見交換を行った。段階的整備（高度化）や原子炉との分担に関する質疑応答などがあり、マンパワーも考慮しながら整備と利用をバランスよく進めることを確認した。

【5】 報告

(1) 人事異動

船守所長から、資料8に基づき報告があった。

【6】 研究活動報告（資料配付のみ）

1. 物質構造科学研究所
2. 素粒子原子核研究所
3. 加速器研究施設
4. 共通基盤研究施設

次回の運営会議は令和7年12月1日15時15分から開催するとの案内があり、閉会した。

以 上